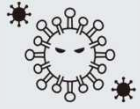


茨城県古河保健所 感染症通信7月号



《感染症発生状況(R8/6/1～6/30)》

	古河保健所管内	茨城県内
2類感染症	結核5件	結核36件
3類感染症	腸管出血性大腸菌感染症2件	腸管出血性大腸菌感染症8件
4類感染症	レジオネラ症2件	E型肝炎3件、日本紅斑熱1件、重症熱性血小板減少症候群1件、レジオネラ症18件
5類感染症	急性脳炎1件、梅毒2件 百日咳3件	侵襲性インフルエンザ菌感染症1件、百日咳11件 侵襲性肺炎球菌感染症6件、急性脳炎1件、 水痘(入院例)3件、 麻しん1件 、 多剤耐性緑膿菌1件 、 梅毒18件、後天性免疫不全症候群1件



《今月のトピックス》夏に注意が必要な感染症

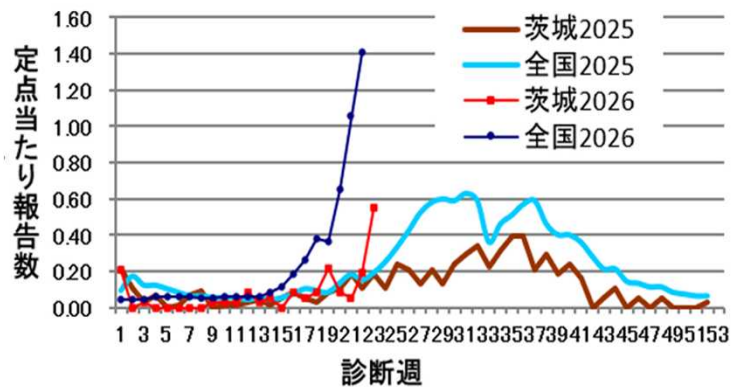
◎手足口病

特徴：乳幼児に多くみられる感染症で、例年夏に流行します。口の中、手のひら、足の裏などに水疱を伴う発疹がみられます。発熱を伴うことがあります。
多くの場合は、3日から7日程度で回復しますが、まれに髄膜炎や脳炎などの重い合併症を引き起こすことがあります。
予防のためには、手洗いをしっかりを行い、タオルの共有は避け、排泄物を適切に処理しましょう。

感染経路：飛沫感染・接触感染・糞口感染

7月16日に流行警報が発令されました！

【発生状況】

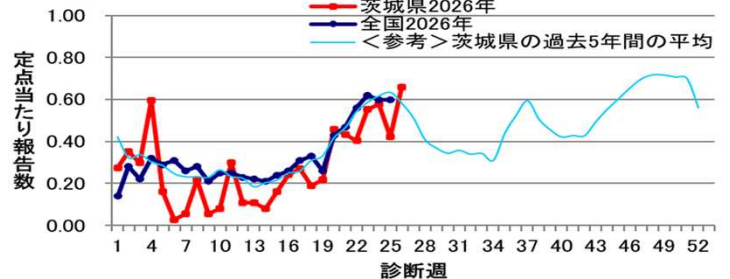


◎咽頭結膜炎(プール熱)

特徴：主に小児多くみられる感染症で、例年夏に流行します。
感染すると5～7日程度の潜伏期間を経て、発熱・咽頭痛・結膜炎などの症状が現れます。
アルコール消毒の効果は弱いため、予防のためには、手洗い・うがいをしっかりを行い、タオルの共有は避けましょう。

感染経路：飛沫感染・接触感染

【発生状況】



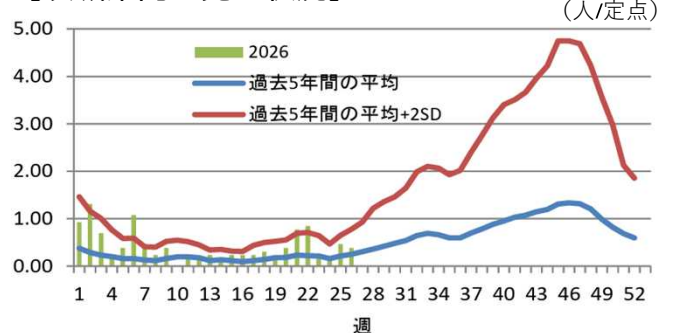
こんな感染症にも注意が必要です！

◎マイコプラズマ肺炎

特徴：小児や成人の肺炎の原因として多くみられます。感染すると発熱や倦怠感、頭痛、咳などの症状が現れます。咳は熱が下がった後も長期間にわたって続くことが特徴です。
県内においては、発生数が多くなっています。予防のためには、手洗い・うがいをしっかり行い、咳が出るときにはマスクを着用するなど「咳エチケット」を心がけましょう。

感染経路：飛沫感染・接触感染

【茨城県内の発生状況】



*そのほか、詳しい情報は下記のホームページ(QRコード)をご参照ください。

○厚生労働省HP



【お問い合わせ】

古河保健所 保健指導課
TEL:0280-32-3068